

- ・復活、開所、リニューアルへのプレリユード（杉浦良）
- ・できごといろいろ（新店舗オープン、復活式の開催、青年長期ボランティア活動開始）
- ・ご支援下さった皆様 / 編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

2006年6月 114号

復活、開所、リニューアルへのプレリユード

杉浦 良

平成 18 年 4 月 1 日（土）午後 1 時 30 分から、復活式と銘打った簡単な記念式を行うことが出来ました。全焼した建物の後片付けや差し入れに始まって、復旧資金の募金活動、木材、建築材の提供にはじまる物品支援、建物の設計施工や電気水道工事などの技術支援、再建資金の援助、不用品の無償提供など、数えれば 5000 人を超える方々の支えを頂くことで、この日を迎えら

れた訳です。初めてということもあり、喜びと緊張と不安が入り混じり、とても充分といえる復活式ではありませんでしたが、簡単な感謝状の贈呈をさせていただいた後に「今までいろいろな感謝状をもらった中で、一番嬉しかった。」という言葉の存在に、この日を迎えられることが出来た意味を、問い直す機会を頂戴した気がしました。「当たり前ではないのだよ！この日を迎えられ



再建した太陽と緑の会事務局・作業所兼店舗の建物（奥は作業倉庫、手前は掘り出し物コーナー）

ることが当然のこのように思っ
てはいけないよ！ましてや、再建できる権利があるなどと、うがった考えを持ってはいけないよ！やれることを精一杯やって、後は天命に任すしかないんだよ！」そう何度も何度もメンバー、スタッフ、そして私自身に言い聞かせた1年1ヶ月が過ぎました。支えて下さった5000人を越える全ての方々に、案内状をお出しするのが礼儀とは知りつつも、スペースの都合上、不義理をした方々の多さに愕然とし、正式に開所する4月24日（月）以降に立ち寄って頂くことで、お許しを願いながらの1ヶ月も過ぎました。24日の開所日には、開所前に、百人を超える人だけが出来ました。簡単なテープカットを木内工務店代表の木内さんと、メンバー代表2名、理事1人、そして事務局長の、合わせて5人で行いました。開所と同時に買い物カゴを持って階段を駆け上られる方々の後ろ姿に「本当に有難いことだけど、ちょっとしたバーゲンセールを思わせるね・・・。取り合いにならなきゃいいけど・・・。」などと心配しておりました。案の定、午後に電話で「希望者多数の場合は、抽選と聞いてったんだが、どうなってるんや！仕事まで休んできたのに・・・。」とお叱りの電話まで頂戴しました。もちろん、そんなことは言うてはおりませんが、よほど悔しかったのでしよう。この1年2箇月の間に、一般市民の方々より回収させて頂いたり、持ち込んで頂いた不用品のうち、選りすぐりの物だけを展示したことが、多分大きな理由の一つだと思います。初日はメンバー、スタッフ共々、店舗としての忙しさを、本当に久しぶりに味わうことが出来ました。初めて用意するネーム入りエプロンを付けたメンバー達の、久しぶりを見る

生き活きとした動きと、疲れているにもかかわらず絶やさぬ笑顔に、もう一度この場で再建させて頂いた意味を見つめます。「社会にとって本当に必要なものは、必ず形になるものだよ・・・。もし形にならないとするなら、本当は必要ではないんだ・・・。今すぐ形になるかは別として・・・。」太陽と緑の会の創立者近藤文雄が語った、そんな言葉が、ふと私の脳裏をよぎりました。「まだ必要とされているんだ・・・。有難いことに・・・。」この感覚は、ここに関わる様々なハンディーを持ったメンバー達が、心を閉じたり、軌道から逸れたり、自暴自棄になったりした時、自分をもう一度支えるための、大切なキーワードならぬ、キーセンシビリティ（私のいい加減な造語ですが）です。能面のように無表情だったメンバーが表情を回復し、寄らば切ると、攻撃的な表情がいつか柔和になる、その人間の不可思議さを、実践の中で経験させてもらったことと、どこかクロスします。裏を返せば、もし必要とされなくなったら、形が崩れ、消滅するわけです。その覚悟を、背中にひしひしと感じながら、再建された新館を見上げる私がありました。前と同じ70坪の2階建てです。大きな違いは、木内さんの指南により、2階の床はコンクリート（今までは合板）にし、1階の窓にはシャッターを付け、二重の出入り口には電動シャッ



ター、屋根は瓦葺き（今までは鉄板）にするといった、防犯、防火と、暑さ、寒さ対策を、なるべく可能な限り行った点です。徳島県西部の東祖谷から、間伐した 11 トントレーラー 2 車分の杉（無償提供）を、その約半分は遮熱、断熱用天井材として、この新館に使わせて頂きました。様々な方々のご協力で、山から杉を切り出し、製材所に運び、いろいろなサイズに切断し、乾かし、一部は壁用に加工業者をお願いするといった一連の作業が成り立ちました。大田元徳島県知事のお父さんが植えた杉の苗が、大きく成長し、間伐する時期を迎え、まわりまわって私たちの建物の建築材として姿を変えることの不思議さを、ほんの一部を垣間見ることで、リアリティーを持って感じさせていただきました。柱 1 本床板 1 枚が、ここで育った木で作られたといった背景を結集することで 1 軒の家が成り立つ、そんな物語が、かつては、豊かに語られたのでしょうか……。鉄骨 2 階建なのに、木の香りがする贅沢さ

が、ここに 있습니다。店内には、防犯カメラと、回収させていただいたスピーカーとアンプを利用した BGM 設備、2 階にお客さん用トイレも付けました。電気工事一式と水道トイレ設備一式は、(株)森本電気工事社長の森本さんが請け負って下さいました。焼失した建物は、20 年程前、徳島市役所新庁舎建設にともない、一部業務に使われたプレハブ 2 階建仮庁舎を頂戴し、移築したものでした。その時の電気水道工事を森本さんが行い、今回の火災に伴い、連絡を頂戴することで、恥ずかしながら初めてその事実を知りました。「今まで仕事、仕事で、何もしてこなかったから、協力するよ……。」新館は、そんな有難い言葉にも支えられている訳です。書き表せば膨大な叙事詩にもなる、この 1 年 2 ヶ月間が終わり、本当にたくさんの方々の支援が『形』になりました。これからが本当の意味での『再建』になります。支えてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。



お知らせ

新店舗オープン

おかげさまで、4月24日(月)9時30分より新店舗をオープンすることができました。

当代表杉浦からの挨拶とテープカットなどの簡単なセレモニーを行った後、開店しました。1時間くらい前から開店を待っておられた方もいて、100人くらいの市民の皆様が一斉に真新しい店内に駆け込み、お目当ての品物を手に取って買って行かれました。「買いに来るのを楽しみにしとったんよ」「昨日NHKのテレビで言うとったんを見て来たんよ」という一言一言が身にしみました。

当会作業所の様々なハンディを持ったメンバーの反応も様々で、接客や陳列商品の整理に熱心に取り組むメンバーもいれば、あまりの熱気で精神的に少しまいってしまったメンバーもいました。自分の担当している分野の品物をお客さんが買って下さるのを見て、少し興奮気味に「早く新しい品物を出さない」とスタッフをせっついたりもしていました。市民の皆様方の風の中でメンバーが育っていくという太陽と緑の会の活動の原点を改めて見せて頂きました。

皆様のご支援により太陽と緑の会を無事再スタートさせることができました。駐車整理が必要なくらい混み合っていた店内も落ち着いてきて、これから会の真価が問われるところです。至らぬ点多々あるかと存じますが、今後ともよろしくお願い致します。

太陽と緑の会復活式の開催

4月1日午後1時から3時まで、太陽と緑の会の再建にご尽力下さった方をお招きし、ほぼ完成した新しい事務局兼店舗の建物1階において「太陽と緑の会復活式」を開催致しました。本来はお世話になったすべての皆様をお招きしたかったのですが、会場が手狭なため85名の皆様をご招待し、32名の方がご参加下さいました。

代表理事杉浦の挨拶に続き、感謝状の贈呈式を行い、皆様からひと言ずつ当会へのメッセージを賜りました。行政、社会福祉協議会、NPO・ボランティア団体、障害者法定福祉施設、障害者地域共同作業所、社団・財団法人、養護学校、民間企業などの皆様が壇上に上がってお話下さる姿は、幅広い分野の皆様に支えられて今日があることの象徴のようにも映りました。当会メンバーの米田君もメンバーを代表し、お世話になった皆様への感謝の気持ちをこめて詩の朗読をさせて頂きました。

最後に復活式の準備・運営を手伝って下さったボランティアの皆様(小林さん、工藤さん、青木さん、今倉君、中原広司さん、中原隆志さん、尾方さん、井上さん、小川さん、梅崎君)、ありがとうございました。



絵 辻井さん

青年長期ボランティア活動開始

4月11日、平成18年度青年長期ボランティアの萩原康弘君（23才・埼玉県出身）が太陽と緑の会に来所、11ヶ月間に渡るフルタイムボランティア活動を開始しました。リユース品の陳列、店内売場の整理、資源ごみの積み込みなど、メンバーと一緒に取り組んでくれています。茨城県の農業専門学校で花卉・野菜栽培を中心に5年間学び、将来は農業をやりたいと話す彼の今後にご期待下さい。

青年長期ボランティア計画とは、社団法人日本青年奉仕協会の中心的な事業のひとつで、同会が18才から30才の青年を全国の福祉、教育、環境、芸術などの分野で活動する非営利団体等に派遣し、フルタイムボランティア活動を行ってもらう、というものです。昭和54年に1年間ボランティア計画として始まりました。太陽と緑の会は昭和63年度より活動先として毎年ボランティアを受け入れてきました。これまでに、18人の青年（荒川君、藤田君、広瀬さん、森川さん、沖君、川野君、御器谷さん、横山さん、桜庭さん、中村君、遠藤君、後藤君、杉本君、樋詰君、山村君、田崎君、吉川君、小野君）が足跡を残し、萩原君は19人目のボランティアとなります。



絵 富開さん

できごといろいろ

3月9日 とくしま環境県民会議 クリーン・リサイクル推進部会 当会から代表理事の杉浦が出席。

3月18日 徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会宿泊研修会開催。4月より施行される障害者自立支援法への具体的対応を中心とした研修会で、徳島県の各担当の方をお招きし、活発な質疑応答がなされました。当会からは代表理事の杉浦、専任指導員の木村が出席。

3月22日 資源ゴミ回収モデル団体意見交換会 代表理事の杉浦出席。

3月24日 午後8時から9時まで、FM放送のB-FM（FMビザン）で般若院住職の宮崎信也さんと地蔵寺住職の服部宏昭さんがパーソナリティを務めるラジオ番組「3Bのえんぴつ」に、太陽と緑の会代表の杉浦が出演、新館オープン直前の現状報告を行いました。

3月24日 徳島市市民活力開発センターにてNPOカフェが開催。原秀樹徳島市長を囲み、市内のNPO、ボランティア団体で活動する16名の市民が参加し、意見交換を行いました。当会から事務局長の小山が出席。

3月19日 太陽と緑の会機関誌かわら版113号発行。

3月20日 太陽と緑の会リサイクル作業所メンバー米田君の詩集「心素」発行。

4月2日 四国放送ラジオの番組「サンデーウェーブ」に当会事務局長の小山、メンバーの米田君が出演、火災による事務局建物全焼から再建までの経過報告、新館オープン後の方針などについてお話をさせて頂きました。

4月14日 電気用品安全法全国講習会（経済産業省主催）。当会理事櫛田出席。

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2006年3月1日～2006年5月11日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付下さった皆様方

吉川 幸美、丸山 宗志、森脇 千恵、森口、山川 繁夫、小林 宏樹、木村 京子、八木、小山 哲雄・彩子、木戸 糸子、香川 光子、徳島県朝日会、数藤、徳島県精神障害者家族会連合会、吉野川育成園 三宅、きのこハウス スタッフ・メンバー (募金箱)、きのこハウス、山崎 秀、アスカ作業所 笠井 光顕、わたべ商会、社団法人 徳島青年会議所、あわっこ作業所、ハート・とくしま、すだち苑、南無なむ堂 長浜 文博、南無なむ堂 石川 安恵・大草、リサイクル山田、笠井 穆、市民未来共社 有志 (島博司・種倉俊・寺沢久美子・佐々木裕子)、大谷 明澄、流工業所 流 博明、新平和製紙(有) 塚井 義美、松村 公三、本田 耕一、前田 忠道・大田 正、玉置 笑子、マルワ環境(株)、すみれ藍住家族会、すみれ・あいずみ作業所、徳島県朝日会、近藤洋一、近藤 加栄子、北岡 弘、中野 久利、成瀬、津嘉山 郁子、板東、近藤 美智子、青木、河野、八百原、黒川、成瀬、かくれんぼ 鈴江孝男、徳島健診クリニック募金箱、うめっこ作業所喫茶店募金箱、堀江、吉崎 安子、山田 栄、木村 治秀、津嘉山 郁子、村上産業、田所 寿美、松崎 孝世

当会郵便振替口座にお振込み頂いた方(平成17年3月2日～平成18年4月10日)

石井 伸子、吉田 修・益子、宮崎 路子、都築 恭子、学童保育のこのこクラブ保護者会、樫本 淳子、東崎 和代、数藤 照美、荒川 大、三代田 直明、三木 晃・祥・南生子、伊地知 福夫、脇田 豊、足立 理八郎、阪野 顕正、中央児童相談所、森本 哲夫、豊崎医院、内原 大、大谷 隆彦、三代田 直明

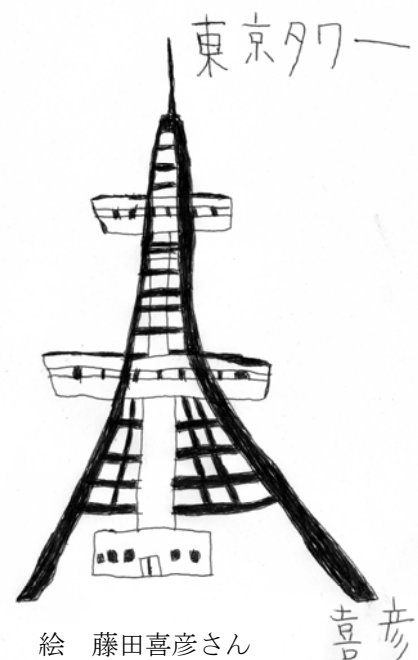
不用品を回収させて頂いた方々

○徳島市○神崎、富元、大輪、泉、斉藤、北野、一番町電化、ディーコム、パッケージ松浦、遊楽、中西、谷、桑原、モウラ、谷下、石井、大田、河野、県看護協会、田村、佐々木、金野、高瀬、四宮、西條産婦人科、板東、久田、トラスト、浅谷、佐野、佐藤、市原、橋本病院、助任小学校、吉田、吉本、武市、七條、田中、広沢、東、ヘイモト、大門、小山、梅本、井上、福山、亀山、大屋、林、浅野、小倉、県設備業協会、吉兼、野鳥の会事務所、相原、井筒、亀井、双葉塾、吉原、小林、ミュージック、住友、山口、成瀬、宮内、あやケアーサービス、吉岡、近藤、島田、手川電気、友竹、鍛冶元、浜田、岡、木村、渡辺、山上、菊池、犬伏、富永、宮前、奥野、谷下、サーパス城東、金山、山中、尾本、大上、篠田、宮城、徳島カラー、高橋、岡田、井原、元木、溝口、山崎、上原、牧野、藤、藤井、わたべ商会、桑村、石山、赤星、城北クリーニング、黒川、岩見、江本、八百原、徳島県身体障害者連合会、花瀬、沢田、川崎、杉本、篠原、増田、石川、高尾、鴨頭、寺田、庄野、堀江、山村、前川、カンガルー歯科、井沢、森、三原、長谷、北畑、岡田、真鍋、後藤田、長谷部、山本、大野、福原、島本、篠田、端村、野村、治外谷、飯田、岡山、有吉、高橋、沼田、日和田、阿部、福島、上田、原田、武田、遠藤、松永、宮川、鎌田、後藤○吉野川市○佐々木、三瀬○石井町○堀、福田、石井薬局、井内、渡辺、徳島チャイルド社、仁木、川村、池田、林○北島町○佐藤、中野、結城、赤沢○藍住町○藤本、伊木、阿部○鳴門市○福井、安中、前田、米花、田中、篠原、ポーラ化粧品、久龍、矢野、若松、郡、生田

不用品を持ち込んで下さった方々

○徳島市○河野、武内、美馬、西村、柏原、松浦、都築、岩佐、知野、片岡、小池、福田、板東、中川、森下、団、工藤、久保、加藤、清水、山中、久次米、玉井、種田、角本、綾野、小林、奥村、北野、春藤、小山、植田、山本、竹内、幸田、久米、赤岩、福岡、藤森、富永、大貫、佐伯、林、天羽、服部、三橋、中西、大田、北野、佐藤、藤本、海野、四宮、坂尾、内野、上田、小西、高橋、東、赤澤、田中、鈴江、田野、山田、長浜、藤井、長楽、谷口、中山、片山、北岡、岡本、イソタン・ルスピタ、山下、多田、陽地、岡、杉本、乾、鷺野、沢、増田、山口、下村、明石、山上、後藤、藤田、カンガルー歯科、(株)総合ビル・メンテム、三好、新居、井村、柏野、ブティック・フミヤ、堀江、川西、和田、山崎、松野、濱口、柴田、黒田、菅谷、島田、立岩リサイクル、吉岡、吉田、糸谷、平山、岸田、久米、佐々木、石本、小笠、楠本、吉本、友川、カタリ一ナ、柿原、安芸、木邑、久米川、飯田、前林、西、新日本婦人の会、森口、岩本、小笠原、坂井、金本、豊永、助岡、山岡、平尾、岡田、瀬尾、玉野、木村、阿部、日下、森崎、松下、田淵、大北、長尾、永田、阿波こくふ街角博物館、岩見、東口、平田、八百原、大岩、中平、呉羽、高原、松田、宮本、津嘉山、浜野、石崎、高木、為実、株本、嘉納、天理教養門布教所、奥谷、近藤、玉置、濱口、窪川、山崎、川口、阿水、嶺井、大輪、長崎、三木、伊原、矢藤、板橋、太田、森本、伊藤、竹本、松本、豊田、江口、田岡、川崎、大上、姫野、児玉、伊藤、桑原、石井、上田、花本、勝浦、酒井、吉成、中谷、稲垣、福家、佐賀、高原、滝口、カフェ・コフィー、大井、池上、住友、柴田、勝澤、岩井、藤井、日浅、田原、久住、丸岡、播磨、岩井、東原、相原、小瀬、原前、渋谷、川西、上原、坂尾、矢部、ディーンダリアント、第十、デイビット、日ノ出、大島、岡山、松尾、日進防疫、以西、三宅、浜口、中村、山側、笹木、小野、青山、宝山、村田、米澤、三浦、秋山、小寺、杉山、高田、西、平島、川上、伊丹、なむなむ堂笠井、大野、岩田、小川○鳴門市○中、玉垣、阿部、米崎、山本、清水、尾崎、NPO 法人ふくろうの森、村雲、斉藤、前田○松茂町○美馬、松浦、稲垣、大宗○上板町○菊池、長浜、佐野、飯田、小磯、嘉重○阿波市○福家、妹尾、中村、森本、富澤、福本、新居○石井町○田中、橘、仁木、藤本、筒井、福島、滝川、西村、山口、木全、小田、富山、遊佐、林、鈴江、古高○板野町○大嶽、二條、五條、森川○吉野川市○加本、鶴田、松岡、森久、上田、井内、吉田、坂野、乾、福田、北浦、高井○藍住町○江島、山本、末次、斉川、岡本、片山、宮本、野口、瀬筒、朝波、伊邨、上田、鈴江、中野、久保、三木、佐河、石上、八山、正木、岡元、大久保、大下、河野、山田、斉藤○阿南市○森、佐野、神元、久米、磯谷、大山、古一、小浜○小松島市○三重野、市原、宮田○北島町○長田、江富、浜村、渡辺、猪山、関、岩本、多田、谷山、吉楽、北野、谷口、橋田、田村、鳥澤○美馬市○高木、斉藤、杉山、加藤○美波町○Jon Teakk○神山町○天野○勝浦町○大久保、宮本○高松市○堀地○海陽町○神沢、永井○岡山市○大村○東京都○内藤

皆様の多大なるご支援、ご協力によりNPO法人太陽と緑の会の事務局・作業所兼店舗の建物を再建することができました。本当にありがとうございました。



編集後記～3K売場の「死と再生」？～

新しい建物がオープンして2ヶ月になるうとしています。オープンに伴い、事業のシステム、作業の流れも変わりました。きれいな建物に真新しいラックが鎮座している今、かつてのように小汚い商品をゴチャゴチャと詰めこむことはできません。食器は洗浄、磨きを十分に行い、当会オリジナルの値札をつけて、木製のラックに陳列するようになりました。かばんも、かつては薄汚れた衣装ケースにあふれんばかりに押し込んで、玄関先に積み上げてありましたが、今は中に新聞紙を入れて形を整え、ワイヤーラックに並べるようになりました。くつも、シュークリーナーで丁寧に磨いてから店に出しています。

床も、コンクリートの打ちっ放しからライトブラウンのクッションフロアへと変わり、売場が明るくなった反面、汚れも目立ちやすく、掃除作業の重要性が著しく高まりました。当会で働く様々なハンディを持ったメンバーは、新しい作業の流れに少しずつ慣れようとしている所です。

リサイクルショップさんであれば、こういったことはむしろ常識で、この程度のことすらやっていなかったのかと、逆に驚かれるかもしれません。「蚤の市のようなだね」と楽しんで下さる方もおられた一方で、暗い、きつい(狭い)、汚い、という3Kの売場に敷居の高さを感じられる方も少なくありませんでした。

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリサイクル・リユース活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の障害者地域共同作業所(2箇所)とリンクさせて、行っております。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立ていけること」を目指して、様々な方々(一般市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っております。

オープン後、新館を訪れた常連の市民の方々から「見やすくなったね。前はグチャグチャで何が何だか分からなかったものね」と言って頂けるようになりました。反面、以前の宝探しの雰囲気をごよなく愛されている方もおられるので、そういった皆様のために、「掘り出し物コーナー」を作りました。ここはかつての太陽と緑の会の売場の縮図のような所で、一部の商品を除いて、50円均一での販売となっています。

また、屋外に設置したテント下では随時特売を行っています。先日衣料品の詰め放題セールと称し、45リットルのゴミ袋に詰め込めるだけ詰め込んで200円、というのを行いました。ブルーシートの上に積みあがった衣料品の山を8人くらいのお客さんが囲むようにして座り、めぼしい商品を袋に入れていく姿が見られ、一人で4袋も買って行かれた方もいて、大変喜んで頂けました。「まだ十分使えるのに焼却処分にしてしまうのは心が痛みます」というアルバイトの小野君の思いから始まったこのセール、ゴミ袋25袋分の衣料品をリユースにつなげることができ、好評だったので、第2弾の実施を検討中です。

以前のやり方がまったく通用せず、作業のやり方もゼロからの作り直しで、スタッフの試行錯誤、メンバーのとまどいの日々はしばらく続きそうですが、ひとつひとつできるところから積み上げて行きたいと考えております。いろいろなご意見をお寄せ頂ければ幸いです(文責:小山)。

発行: 特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延107-1
TEL・FAX 088-643-1054 (事務局)

TEL・FAX 088-642-1054

(不用品リユース・障害者地域共同作業所)

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>

E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎

編集サポート 岡田 郁子

年会費: 正会員10,000円 準会員1,000円

郵便振替口座: 01620-8-44703

※この機関誌は再生紙を使用しています。